



佐渡市長
渡辺 竜五

市長メッセージ

2015年（平成27年）の国連サミットで採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界の実現に向けた全ての国々の共通目標であり、国内においても自治体や企業などにおいてSDGsの取り組みが広がっています。本市では、SDGsの持続可能な開発目標17のゴールに、トキや佐渡金銀山をはじめとした佐渡独自の歴史・文化の継承を実現する社会を18番目の目標として捉え、歴史・文化と環境・経済・社会が循環し、豊かに暮らし続けられるよう、島内外の多様な主体との連携、創意工夫によって取り組んでおり、2022年（令和4年）4月に「脱炭素先行地域」に、同年5月には「SDGs未来都市」として国からの選定を受け、本市が目指す持続可能な島づくりについて評価いただきました。このたび、様々なSDGsの取組を紹介する「佐渡SDGsガイドブック」を作成いたしました。このガイドブックを通じて、市民の皆さま一人ひとりが、SDGsに対する理解を深め、SDGsをより身近に、そして自分事として新たなチャレンジにつなげていただければ幸いです。最後に本ガイドブックの作成にあたり、ご協力いただきました企業・団体及び学生の皆さまをはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

発行元：佐渡市役所 企画部総合政策課
住所：〒952-1292 新潟県佐渡市千種 232
連絡先：0259-63-3802
URL：<https://www.city.sado.niigata.jp/site/sdgs/>



佐渡SDGs ガイドブック



目次



SDGs 未来都市佐渡オリジナルロゴマークについて P.3

佐渡市が掲げる 2030 年のあるべき姿

佐渡市が掲げる **5** つの目標 P.4

SDGs（持続可能な開発目標）とは P.5

■ 貧困をなくそう	P.6
■ 飢餓をゼロに	P.7
■ すべての人に健康と福祉を	P.8
■ 質の高い教育をみんなに	P.9
■ ジェンダー平等を実現しよう	P.10
■ 安全な水とトイレを世界中に	P.11
■ エネルギーをみんなに そしてクリーンに	P.12
■ 働きがいも 経済成長も	P.13
■ 産業と技術革新の基盤をつくろう	P.14
■ 人や国の不平等をなくそう	P.15
■ 住み続けられるまちづくりを	P.16
■ つくる責任 つかう責任	P.17
■ 気候変動に具体的な対策を	P.18
■ 海の豊かさを守ろう	P.19
■ 陸の豊かさを守ろう	P.20
■ 平和と公正をすべての人に	P.21
■ パートナリーシップで目標を達成しよう	P.22

地域のこどもたちの取り組み P.23-24

2030年の日本ってどうなっているんだろう...？

佐渡ってどうなっているんだろう...？

あなた自身はどうなっているでしょうか...？

SDGsは、未来をより良くするために

世界がひとつになって取り組む「目標」です。

SDGsって何？佐渡が取り組んでいくことって何？

私にできることってどんなこと？



世界では、貧困、紛争、テロ、気候変動、食糧危機、資源の枯渇など...

さまざまな問題が取り上げられており、

地球の持続可能性が危ぶまれています。

SDGsは未来の人々が幸せであるために、これらの問題に対して、

世界が一丸となって解決するために掲げられました。



本紙では、SDGsの説明だけでなく、

あなたが今日からできる取り組みについても紹介していきます。

ぜひ一緒に未来に向けて、今できることを考えていきましょう。





SDGs未来都市佐渡市のロゴについて

佐渡市の鳥「トキ」をモチーフに、大佐渡山地の部分は頭部で、小佐渡山地の部分は広げた翼を表現し佐渡島の地形に翼を広げた姿を重ねています。持続可能な自立・分散型社会のモデル地域となって課題解決の先進地に躍進する佐渡市をトキが羽ばたき飛び立つ姿で表現することで、島の環境・経済・社会の調和をはかり、目指す未来の佐渡市に向かっていくという強い想いが込められています。

人が豊かにトキと暮らす 黄金の里山・里海文化、佐渡

～ローカルSDGs佐渡島、自立・分散型社会のモデル地域を目指して～

本市の最上位計画となる総合計画に掲げる将来像を実現するための5つの基本目標に沿って、市民のみなさまとともに、人が豊かにトキと暮らす黄金の里山・里海文化、佐渡の実現に取り組んでまいります。

5つの 基本目標

環境

トキの舞う美しい島

～豊かな自然と共生した、安全で快適なまちづくり～

社会

笑顔と長寿の明るい島

～一人ひとりが活躍し、いきいきと暮らせるまちづくり～

社会

文化の薫るおけさの島

～郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり～

経済

働く汗の光る島

～地域の活力と賑わいあふれるまちづくり～

社会

人情と優しさのあふれる島

～心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり～



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

SDGs（持続可能な開発目標）とは

現在、世界中で異常気象や自然環境の破壊、経済格差や紛争など様々な問題に直面しています。SDGsはこれらの問題の解決を目指す目標です。「誰1人取り残さない」という理念のもと、持続可能な社会を実現するために国連で採択され、2030年までに取り組むことが求められています。今の私たちにできることってどんなことでしょうか？SDGsの17個の目標に沿って、私たち一人ひとりが身近でできるSDGsの取り組みのヒントと佐渡市内での取り組み事例をみていきます。



「貧困」という単語を耳にすると、外国をイメージする方も多いのではないのでしょうか。実は日本でも6〜7人に一人が相対的な貧困に陥っていると言われています。

子育て環境や健康寿命について考えてみましょう。

私たちにもできること

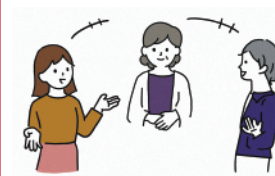
子育て支援の制度を調べてみよう。

佐渡市では、幼稚園・保育園を無料で利用できたり、子どもの医療費助成や奨学金制度などがあります。調べてみることから始めましょう。



地域の人たちと積極的に交流をしましょう。

近所の方や集落の人たちと交流することで、地域内で困っている人や助けが必要な方にいち早く気づくことができます。



フェアトレードの商品を選ぼう。

このマークの商品は発展途上の国で生産されていて、生産者や環境に優しい商品を目でわかるようになります。普段の買い物の際に意識してみてください。



取り組み紹介

佐渡市高齢福祉課



SDGs への貢献 介護予防教室の開催

主に65歳以上の方を対象に、健康寿命を延ばし、いつまでもイキイキと自分らしく生活ができるよう、各地区で介護予防教室を開催しています。心身の衰えを予防し、健康を維持するために積極的に参加しましょう！

貧困をなくそう



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

2 飢餓をゼロに



世界の飢餓人口は、減少を続けていましたが、最近になって、再び増加に転じてしまったのを知っていますか？飢餓人口は2014年に5億7160万人まで減少したものの、2021年には8億2,800万人となっていました。これは、8人に1人がその日、明日以降の食べ物がないかもしれない状況です。

食生活の見直し、食の安心安全について考えてみましょう。

私たちにもできること

食事が偏っていないか 見直してみよう。

飢餓はあまり実感がないかもしれませんが、特に子供たちの偏った食事（ジャンクフードの過食など）や、栄養不良は意外と身近にあるかもしれません。食生活を今一度見直してみましょう。



佐渡米について知ろう。

佐渡市は世界農業遺産（GIAHS）にも認定された、生きものを育む農法により栽培されたお米を生産しています。何気なく口にしているお米について少し詳しくなってみませんか？



佐渡の郷土料理を 学んでみよう。

棚からぼたもちという言葉の「ぼた餅」も実は佐渡の郷土料理なんです。他にも「鶏汁」や「煮しめ」など、佐渡の郷土料理を6年かけて編集した「さどごはん」は図書館や市役所にも置かれています。



取り組み紹介



SDGs への貢献

佐渡に元気を広げよう
しまびとみんなが大家族

食・運動・子育て・食育・自然環境・ボランティアの各分野で計24グループが活動しています。健康フェスティバルなどの各種イベントを通じて、佐渡に生きるすべての人が一つの大きな家族のようにつながり、共に健康づくりを推進できるよう、おもてなしの心で元気と笑顔をおすそ分けしています。

3 すべての人に健康と福祉を



日本のように基礎的な保健サービスを当たり前のように受けられる国は数多く存在します。その一方で、世界各地では、少なくとも4億人もの人々が十分な医療を受けることができていません。また、全世界では5歳前に亡くなる子供が年間530万人（127人に1人）もいるのが現実です。

健康長寿日本一を目指し、日々の健康づくりを意識していきましょう。

私たちにもできること

AI救急相談アプリ を利用しよう。

急な病気やケガのとき、LINEから気軽に救急医療の相談ができます。

※ 救急車要請や医療機関受診の必要性、対処方法をアドバイスします。



近所の方々と 挨拶をしよう。

日ごろから声をかけていると、些細な変化に気づくことができるようになります。近所の人を見かけた際に、積極的に声をかけるようにしてみましょう。



健康づくりサービスを 活用しよう。

佐渡市では毎年、予防接種や健康診断のスケジュールをまとめた「健康づくりサービス」を発行しています。各サービスや窓口も掲載されているので、毎年確認しましょう。



取り組み紹介



SDGs への貢献

SIZE S

「みんなで進める食と運動こころのあったか大作戦」

市民の健康を大切にする活動として、S:佐渡で I:一緒に Z:ずっと E:笑顔で S:住みたいの「SIZE S (サイズエス)」を合言葉に健康の維持管理に向けて取り組んでいます。

- 取組例)
1. 1日1回は心と体の休憩時間を見つける
 2. ご飯の量とバランスを考えて腹八分目を心がける
 3. 毎日10分大股で歩く
 4. 毎年検診を受けて自分の体と向き合う
 5. 地域の人との繋がりを大切にする



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

4 質の高い教育を
みんなに



世界では、7人に1人は学校に通えないといわれています。
誰もが公平に教育を受けられるよう、現状を知ることが大切です。

私たちが学習機会を増やしていくことを心がけましょう。

私たちにもできること

島内で開催される 講座や勉強会に 参加してみよう!

島内では、様々な講座や勉強会
が開催されています。興味を持っ
たプログラムにはぜひ参加しまし
ょう。



図書館を活用して世界 の「今」を調べてみよう。

佐渡には5館の図書館があります。
また、市のHPからも資料を探すこ
とができるので利用してみましょう。



SDGsをもっと 学んでみよう!

市主催の佐渡未来講座、SDG
sガイドブックや市のSDGs特
設サイトなどでSDGsについて
学んでみましょう。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



日本の男女格差は先進国で最低レベルなことを知っていますか...?
(2022年:146か国中116位)
日本はまだまだ性別にかかわらず平等に活躍できる社会になれるはずです。

性別にかかわらずすべての人が心地よく暮らせる社会を目指していきましょう。

私たちにもできること

家事を平等に 分担しよう。

どちらかだけでなく、日々の家事
を分担してみることを意識して
みましょう。



自分のやりたいことに 積極的になろう。

男性だから、女性だからという先
入観を持たず、興味を持ったこと
になることに積極的に挑戦してみ
ましょう。



女性が活躍できる社 会をつくろう。

家庭・地域・職場等で性別による
役割を固定化する意識や考え
方をなくし、女性があらゆる場
において能力を発揮し、活躍
できる社会をつくっていきましょう。



取り組み紹介

佐渡市教育委員会



SDGs への貢献

課題解決型 職場体験学習の実践

中学校の生徒が職場体験を通じて島内の企業や地域の特色を
知り、また様々な課題に主体的に取り組むことで、困難に立ち向
かう力がつきます。また、地域貢献をきっかけに郷土愛を育むこ
ともつながっています。

取り組み紹介

佐渡市市民課



SDGs への貢献

性別に関わらず機会を分かち合い 物事を一緒に決めてゆく社会

ジェンダー平等に向けて、男性の家事・育児への参画や、家事・
育児に関する参加者同士の対話、誰もが活躍できる職場づくり
などについてのセミナーを開催してきました。今後も男女共同参
画をテーマにセミナーを開催予定です。みなさんも参加してみま
せんか。



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals



世界で水道の設備がない暮らしをしているのはなんと20億人と言われています。水不足や水質汚染なども問題となっています。自然の恵である水を大切に使いましょう。

水を大切に使うこと、きれいな水を汚さない意識を持ちましょう。

私たちにもできること

水の使い方を 見直してみよう。

蛇口をこまめに止めたり、お風呂の残り湯を洗濯や散水に再利用するなど、日ごろから節水を意識してみましょう。



油は流さず ふき取るようにしよう。

生活排水の中でも、油を処理する際は特に大量の水が必要になります。油を使用したときは、直接排水溝へ流すのではなくふき取ることを心がけてください。



冬場の水道管の 凍結・破裂に備えよう。

厳しい寒さに見舞われる冬季は水道管の凍結・破裂が発生しやすくなります。「寝る前に蛇口から水を出しておく」、「露出している水道管や蛇口に防寒材や布を巻きつける」などの対策を行うようにしましょう。

風雪・大雪・低温対策を！

停電に備える	水道凍結に備える	品薄に備える
- 寒さ対策（防寒着・毛布など） - 懐中電灯の用意 - モバイルバッテリーの確保	- 凍結防止作業 - むき出しの水道管や蛇口を布等で覆う - 少しずつ水を出し続ける - メーターボックス内も保温する	- 食料の確保 - 食料を少し多めに買っておく - 燃料確保 - 灯油などの燃料を少し多めに買っておく



電力は私たちの生活を豊かにし、なくてはならないものです。しかし、発電の際には、温室効果ガスも排出されます。電力をはじめとするエネルギーについて学び、考えることから始めてみませんか。

節電や再生可能エネルギーについての知識を深め、正しく電気を使用しましょう。

私たちにもできること

電気の使い方を 見直してみよう。

こまめにスイッチを切る、使用していない電化製品のコンセントを抜くなど、今日から始められる節電に取り組んでみましょう。



冬の暖房家電を 使い分けよう。

部屋全体を温めたいときはエアコン、すぐに温めたい場合はガスや灯油ストーブ、脱衣所ではファンヒーターなど、場所や用途に合わせて暖房家電を使う意識をしてみましょう。



再生可能エネルギー について知ろう。

再生可能エネルギーには太陽光や風力、バイオマス発電などがあげられます。二酸化炭素を排出しないエネルギーについて知識を深めてみましょう。



取り組み紹介

佐渡市上下水道課



SDGs への貢献

いつまでもきれいな 川・海を守ろう

佐渡市の下水接続率は65.9%と県平均の89.7%を下回っています。生活雑排水や汚水を下水に接続しないと汚れた水が川や海に流れ込みます。地域の下水供用開始から3年以内に下水を接続した場合、1年間下水道利用料が無料という制度もありますので、下水の接続がまだのご家庭はご検討ください。また、上下水道の働きをまとめたDVDを小学校に配布していますので、ご活用ください。

取り組み紹介

佐渡市総合政策課



SDGs への貢献

省エネ・創エネ設備の導入の際は 補助金活用をご検討ください

佐渡市では、太陽光発電、蓄電池、高効率エネルギー設備（エコジョーズ、エコキュート、太陽熱温水器など）、まきストーブ、電気自動車、ピークルトゥホーム、EVカー充電設備などを対象とした補助金を予定しており、詳細については、別途、市民の皆さまにお知らせを予定しております。



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

8 働きがいも
経済成長も



地域経済の持続的な成長には、生産性を高めた産業の拡大が必要となります。そのためには、佐渡で暮らす一人ひとりの働きがいがかかせません。佐渡市では雇用機会、就労環境の充実に取り組んでいます。

あなたにとっての働きがい、大切にしていることを見つめてみましょう。

私たちにもできること

ディーセントワーク を知ろう。

ディーセントワークとは、「誰もが差別なく働ける仕事」という意味です。差別やハラスメントのない公正な職場環境を目指しましょう。



多様な働き方について考 えてみよう。

昨今は、島内でもテレワークを実践している企業が増えてきました。業務のイメージができれば、テレワークへのハードルも低くなるかもしれません。



コワーキングスペース へ行ってみよう。

テレワークの普及によって、島内にもコワーキングスペースが増えてきました。カフェのように落ち着ける場所もあるので、足を運んでみてはいかがでしょうか。



取り組み紹介

株式会社EDOPON



SDGs への貢献 自由な働き方を実践

幼少期を佐渡で過ごした移住者が、孫ターンとして事業を展開しています。Web広告や動画制作を中心に、場所を選ばない働き方によって、島内で活動しながら島外へ商圏を広げています。また、蓄積したデータの活用方法や情報共有などを島内向けに行っています。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



普段当たり前のように使っている電気やガス、水道をはじめインターネット環境などのインフラ設備は、産業の発展に欠かせません。また地場の産品やサービスを積極的に利用することで、地域の産業を支えることにつながります。

何気なく使ったり、購入していたサービスやモノについて興味を持ってみよう。

私たちにもできること

インフラ設備に ついて知ろう。

普段当たり前のように使っている、水やガス、電気はどこから供給されているのか、気にしてみることが初めの一歩になります。



地場産業を 応援しよう。

地元で作られた産品を積極的に買うことで、生産者の応援につながります。また、島内では毎週のように各地でイベントも実施しているのでぜひ行ってみてください。



ビジネスコンテスト について知ろう。

佐渡ビジネスコンテストは、島内での創業や島内への企業誘致を目的として、2021年からスタートした取り組みです。最近できた島内のお店やサービスもビジネスコンテストに出場していたかもしれません。



取り組み紹介

吉井有機給食応援隊



SDGs への貢献 保育園給食への取り組み

島内保育園への有機米・野菜の提供を通じて、佐渡の子どもの心と身体の元気を支えるとともに、田畑に棲む生きものや命との共生を伝えています。また、地元食材を消費することで、そこに暮らす人々の生活や環境が維持されるなど、地域を守ることに繋がっています。



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

10 人や国の不平等をなくそう



慣習的な差別意識を無くすことはもちろん、外国人に対する差別などが発生しないようにしなければなりません。また、移住者と元々住んでいた方との間にも差別や不平等がない社会を目指しましょう。

みんなが平等な権利を持って、お互いに支えあう意識を持ちましょう。

私たちにもできること

それぞれに違うことを受け入れ、理解し合う意識を持とう。

国籍や出身地、宗教や性別、慣習や文化など私たちには様々な違いがあります。否定するのではなく、理解し認め合う意識をもって行動しましょう。



「手伝って」を言える環境づくりを心がけよう。

子どもやお年寄り、身体の不自由な方だけでなく、あなた自身が不調になった時にも、「手伝って」と言い合える関係づくりを普段から心がけてみましょう。



ウェブアクセシビリティを知ろう。

ウェブアクセシビリティとは、高齢者や障がい者など心身の機能に制約のある人でも、ウェブで提供されている情報にアクセスし利用できること。ちなみに、佐渡市のHPはウェブアクセシビリティを考慮した仕様となっています。



11 住み続けられるまちづくりを



世界では、過去40年で人びとが避難や移住をしなければならないような、自然災害の発生件数が大きく増えていることを知っていますか？

災害に強く誰もが安心して住み続けられる島を目指しましょう。

私たちにもできること

ハザードマップを見てみよう。

ハザードマップとは、自然災害による被害が発生する可能性がある区域をわかりやすく示した地図です。佐渡市HPでは、土砂、洪水、津波の警戒が必要な地域や避難場所を掲載しています。



災害に強い島にしよう。

佐渡では、地震こそ少ないものの、水害や雪害、地滑りなども発生します。日ごろから助け合いができる地域づくりに取り組みましょう。



地域のお祭り・行事に積極的に参加しよう。

佐渡には鬼太鼓や伝統芸能など地域のお祭り・行事が数多くあります。積極的に参加して地域とのつながりを深め、共助のこころを育みましょう。



取り組み紹介

一般社団法人SADO Act



SDGs への貢献

障がいのある方々の芸術作品の発信
～佐渡アール・ブリュット～

2016年より、障がいのある方々が作り出す絵画などのアート展示をスタート。これらの取組を通じて、市民が障がいのある方々の気持ちや暮らしに触れる機会を創出しています。

取り組み紹介

防災センター



SDGs への貢献

防災に関する様々な体験を通じて、一人ひとりが災害に備える

防災センターでは災害を知ること、一人ひとりの「防災力」を高めることができます。また、各地区の自主防災組織とも連携しながら、自助・共助・公助の力で近年の多様化・大規模化する災害に備えています。



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

12 つくる責任
つかう責任



世界で生産されている食品の約3分の1は廃棄されているのを知っていますか？
日本の給食でも1人あたり1年間に約7.1キログラム食べ残されています。

食べ残しやゴミを減らすためにできることから始めてみましょう。

私たちにもできること

3つの「きり」を 実践しよう。

佐渡市では、ごみや食品ロス削減へ
向け『料理の食べ「きり」』、『食材の
使い「きり」』『ごみの水「きり」』を掲
げています。



「さんあ〜る」を 活用しよう。

家庭ごみの収集日や分別方法をお
知らせする「さんあ〜る」を知ってい
ますか？ぜひダウンロードしてみ
てください。



フードバンクさどを 知ろう。

フードバンクとは、さまざまな理
由で企業や家庭で使われなくな
った安全な食品を引取り、食べ
物が必要としている福祉施設・
団体や個人へ届ける活動です。



取り組み紹介

佐渡市消費者協会



SDGs への貢献

ダンボールコンポストの取組
〜生ごみ削減・資源の利活用〜

水分が多く含まれる生ごみは、焼却に多くのエネルギーと費用
を必要とします。消費者協会では、ダンボールコンポスト等を活
用し、生ごみから堆肥を作る取組を実践・推奨しております。ぜ
ひ一緒に食品ロスの取組と併せて、ごみの削減に取り組んでい
きましょう！

13 気候変動に
具体的な対策を



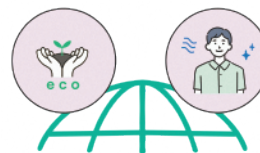
日本の熱帯夜の日数は、過去30年間で1910~40年の30年間で比較するとなんと約
2.6倍に増えたそうです。温室効果ガスによる温暖化や、台風など異常気象のニュース
も毎年のように取り上げられています。

日ごろから省エネや環境保全の意識を持つことが大切です。

私たちにもできること

脱炭素について 学ぼう。

脱炭素とは、二酸化炭素の排出量
をゼロにしようという取り組みです。
クールビズやエコ家電への買い替
えも脱炭素への取り組みです。



トキの森クレジットを 知ろう。

「トキの森クレジット」は佐渡の
森林生態系の保全を目的にし
ています。収益は、再び佐渡の森
林整備に活用されます。



グリーンライフポイント について知ろう。

グリーンライフポイントとは、消費
者の環境にやさしい行動に対し、
企業・自治体等が「ポイント」を発
行する取組です。



取り組み紹介

佐渡市総合政策課



SDGs への貢献

脱炭素につながる新しい
豊かな暮らし

2050年カーボンニュートラルに向けて、暮らし、ライフスタイルの
分野でも大幅なCO₂削減が求められます。例えば、省エネ家電、
LED照明、ごみの削減・分別、公共交通・自転車・徒歩、サステナ
ブルファッション、量り売り、食べきりなど、できることから始めて
みませんか。

気候変動に具体的な対策を



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals



世界で1億5,000万トン以上のプラスチックが海の中にはあると言われており、年間約800万トンが新たに海に流出しているそうです。これは、ジャンボジェット機5万機相当と言われてています。

海の環境保全活動に積極的に参加しましょう。

私たちにもできること

海での遊び方 を見直そう。

海へ行った際、ゴミをそのままに
していないか、海を汚してしまう
行動をしていないか、意識して
みましょう。



ゴミ拾い活動に 参加しよう。

各地域で定期的に、ゴミ拾い活
動を開催しています。お近くの活
動に参加してみてください。



佐渡市水産業雇用促進セ ンターを活用しよう。

漁業や海業で起業・事業拡大を
目指す方のための相談窓口です。
漁業にかかわっている方、これか
ら事業を始めたい方はぜひ問い
合わせてみてください。



取り組み紹介



SDGs への貢献 漁網回収プログラムの実践

令和4年4月より、ナイロン製廃漁網の回収プログラムがスタートしました。地元の漁業関係者とともに海洋プラスチックごみの原因の一つである漁具を正しくリサイクルし、繊維素材としてアパレル製品など新たな資源として生まれ変わる取組を進めています。



佐渡を代表するトキも、2003年に絶滅してしまいました。その後2008年から放鳥が開始され今では560羽（2022年時点）を超えるトキがふたたび空を舞っていますが、その一方で国内外問わず多くの生物たちが絶滅の危機に瀕しています。

「トキの舞う美しい島」を守るために、島の環境保全について考えていきましょう。

私たちにもできること

トキを守るルール を知ろう。

トキを見つけると嬉しくなりますが
共生するためのルールを守るよう
にしましょう。



- × 餌をあげないで
- × 繁殖期（3～6月）には
巣に近づかないで
- × 近所迷惑に気をつけて

原生林を 見に行こう。

佐渡には原生林や巨大杉が多く
存在します。ツアーを実施してい
るので、ぜひ参加して佐渡の自然
に触れてみましょう。
※冬季を除く



植物性廃食用油を リサイクルしよう。

島内の30か所で「植物性廃食用油」
の拠点回収を実施しています。回
収方法を確認し、持参するようにし
ましょう。



取り組み紹介



SDGs への貢献 どんぐりの森 ～吉井小学校での育樹祭の実施～

これから佐渡に生まれてくる世代のために美しい島を残すべく、2009年から吉井小学校の児童と一緒にどんぐりの植林・育樹を実施しています。はじめは真っ暗で荒れ果てていた森が子どもたちや地域有志の手を借りて、適度に光が差す森へと整備されました。

陸の豊かさを守ろう



SADO × SDGs

人が豊かにトキと暮らす
黄金の里山・里海文化

佐渡

Sustainable Development Goals

16 平和と公正を
すべての人に



あなたの会社、家族、友人、コミュニティにいる人たち。一人一人の価値感の違いを否定するのではなく、多様性をお互いに受入れ合い、誰もが安心して暮らせるまちを目指しましょう。

安心して暮らせるまちに向けて、地域活動に参加してみましょう。

私たちにもできること

新聞やニュースを 読もう。

SNS上におすすめされる記事だけでなく、国内や世界で何が起こっているのか知ることから始めましょう。



弱い者いじめを見逃 さないようにしましょう。

暴力やいじめは決して許されるものではありません、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを心がけていきましょう。



政治について 学ぼう。

18歳以上から選挙に参加できるようになりました（高校生もOK）。家族で政治について話す機会を設けて、より多くの人が投票して社会づくりにかかわっていくようにしましょう。



取り組み紹介

加茂湖活用市民会議



SDGs への貢献 加茂湖クリーンアップ大作戦

日本百景の1つである「加茂湖」の豊かな自然・景観・暮らしを支える資源を守るため、地元市民など400名が参加。観光資源として活用する取組として約20年ぶりに遊覧船を試験運航。観光客の視点で新たな魅力の探索を実施。日々、市民自らが安心して暮らせる社会の実現に向けて活動しています。

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



島内全体でSDGsに取り組んでいくためには、私たちが協力し合うことが欠かせません。未来に向けて、今できることから始めませんか。

一人ひとりがSDGsについて意識を持つところからはじめましょう。

私たちにもできること

身近な人とSDGsにつ いて話してみませんか。

「SDGs」という単語は広く知られていますが、具体的な内容を知っている人は多くないかもしれません。身近な人とSDGsについて話してみませんか。



SNSで 発信してみよう。

話し合っ得た考え方や、新たに学んだこと、あなた自身が感じたことをSNSで発信して周りの人とも共有してみましょう。



佐渡SDGsパートナー を知ろう。

佐渡市ではSDGsパートナーを募集しています。島内でSDGsに積極的に取り組んでいる企業・団体を知ってみんなで応援しましょう。



取り組み紹介

佐渡市総務課



SDGs への貢献 外部人材を活用した行政運営 ～行政の活性化～

佐渡市では、令和4年度より国・民間企業から外部人材を受け入れ、外からの視点を活かした行政運営と専門的な知識を活用した課題解決や政策推進のノウハウを職員が学び、共に取り組むなかで職員のスキルアップ・意識改革を図っています。



SADO × Sustainable Development Goals

地域の子どもたちの取り組み

佐渡総合高校のみなさん



ネリカ米を食べるザンビアの子どもたち



佐渡総合高校農産加工系列では世界の食糧事情について学んでいて、アフリカの貧困問題の現状を知ってもらいたいとザンビア共和国を訪れた際に撮影した写真を見せたことがきっかけで、生徒たちは自分たちにできることはないかと考えるようになりました。2020年から始まった、13,000キロ離れたザンビア共和国へネリカ米*を栽培し送る活動を通して、佐渡から世界へ、SDGsの取り組みを実践しています。

*ネリカ米・・・高収量のアジア稲と病気や雑草に強いアフリカ稲を交配した品種の総称

受賞一覧

第2回新潟 SDGsアワード (2022年2月) 大賞

STI for SDGsアワード 2022(2022年10月) 次世代賞

第1回東京農大SDGsコンテスト(2022年12月) 最優秀賞

